

導入成功事例 No.29 レポート

ネットワーク型デジタコ DTS-D1D

西表島交通 株式会社 様



ドライブレコーダー映像で国立公園・西表島の観光のあり方、環境保全のあり方が見えてくる。



西表島で貸切観光バス、路線バス、タクシー、レンタカー事業を行っている、西表島交通様。遊覧船の運航やカヌーツアーの実施、各種観光ツアーの企画・販売、お土産物販売などを展開するグループ会社様とともに、西表島観光を幅広く支えています。

ドライブレコーダー搭載
ネットワーク型デジタコDTS-D1D

導入のきっかけ

2007年から富士通のカード型デジタコをお使いだった西表島交通様。貸切りバスへのドライブレコーダー搭載義務化により、2017年にDTS-D1Dへ切り替えられました。どちらも導入の目的は安全運転の徹底。玉盛社長様にお聞きしました。「ドライバーが安全運転意識を高く持つことは大事です。でも、観光バスの場合は、ツアーを主催する代理店や添乗員の方の安全意識の共有が欠かせません。運行に無理がないか、安全に行われているか、日報と映像でしっかり確認しています」。運行状況がハッキリ分かる映像の威力には特に満足いただいています。



代表取締役社長 玉盛 雅治 様

USER PROFILE

西表島交通 株式会社

設立：1972年5月
本社所在地：沖縄県 八重山郡竹富町南風見
TEL：0980-85-5601
代表者：代表取締役社長 玉盛 雅治
資本金：4,800万円
従業員数：107名(グループ合計)
事業所数：1カ所

課題

- 違反時の状況確認に時間が掛かる
- 現在地や運行状況を電話で確認
- もし機器のトラブルが発生したら不安

効果

- 映像確認で運転状況が一目瞭然
- リアルタイムの動態把握、運行確認
- 離島でも24時間の手厚いサポート



ドライブレコーダー搭載の義務化と同時に導入。

カード型デジタコ導入時から、安全運行の徹底に取り組んできた、西表島交通様。ドライブレコーダー搭載ネットワーク型デジタコDTS-D1Dに切り替えてからは「ドライバーへの安全運転指導も旅行代理店や行政との折衝も、ドラレコ映像を確認しながらできるので、説得力が違います」と好評です。



前方撮影用(左上)、
ドライバー撮影用(左下)と
車内全体を捉えるドーム型(右)
3台のカメラを搭載
後進用カメラの搭載も検討中

安全運転の徹底 帰庫時の指導を徹底、ヒヤリハット事例も掲出。

急加減速などの違反運転があればドライブレコーダーの映像をチェック。動物の飛び出しなど不可抗力のものか、不注意に起因するものか判断。帰庫時に安全指導を行っています。また、ヒヤリハットの事例も点呼場所に掲出。「カメラで撮った実際の映像を使っているので、図やイラストで紹介していた従来の事例とは分かりやすさが違いますね」と安全統括管理者の伊禮様。ドライバーの安全意識の向上を図っています。

動態把握の活用 万一の事態には避難場所を指示。

予定通りに観光バスが運行できているか、リアルタイムで確認できる動態把握。「違反運転などがあつた時、動態画面をチェックして停車中であれば電話で注意することもあります」とお話しになる伊禮様。「以前、津波注意報が発表された時にも今どこにいるか確認、現在地から最も近い避難場所をメッセージ機能ですぐ指示できました」。



点呼場所に掲出された
ヒヤリハット事例



リアルタイムの現在地とともに
エアコン使用時間など
環境負荷を軽減する
運転操作もチェック

手厚いサポート 「24時間対応、細かい設定も簡単でした」。

統括運行管理者の森本様は、魅力のひとつにサポートを挙げられました。「同じ画面を見ながら操作を教えてくれるので、細かい設定変更も簡単でした。しかも24時間対応、夕方の帰庫後でもサポートを受けられるので安心ですね」。

ドライブレコーダー映像の活用 環境・動物保護、道路改善への映像活用も。

20年以上前から西表島の環境保全を推進してきた玉盛社長様。行政に働きかけて委員会を設立し、観光名所のひとつである仲間川の保全利用協定を策定したり、旅行代理店には環境負荷の少ないツアーの企画を申し入れたり、西表島観光のあるべき姿を追求しています。今後はドライブレコーダーの映像の活用もお考え。「ある交差点では一般車両を含めて違反やトラブルが起きがちだったのですが、映像をチェックすると青信号の時間が短いことが原因でした。警察に相談し、今は改善されています。希少動物保護のためのアンダーパスの設置場所やより安全に通行できる道路整備にも、この映像を活かしていきたいですね」。



玉盛社長様が中心となって策定された
仲間川の保全利用協定(大原港・旅客待合所前)



貸切バス事業者
安全性評価認定制度
二ツ星に認定



安全統括管理者・運行管理者の伊禮文仁様(左)と
統括運行管理者の森本幸生様(右)



遊覧船はマングロープの根への負荷が少ない
シースリットタイプを導入して航行速度も制限

西表島交通の
ドライバーさんは
操船やガイドも兼任

●お問い合わせ先

■製品・サービスについてのお問い合わせは



株式会社 トランストロン

情報サービス営業部

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-15-16 NMF新横浜ビル

TEL.045-476-4640 FAX.045-476-5024

http://www.transtron.com/

